

「2兆円を超える令和7年度一般会計予算案」

県税の使い方を考える

神奈川県議会議員（麻生区選出） 石川ひろのり

現在、県議会は令和7年度予算案を審議中で、2月、予算策定にあたり750億円の財源不足が報告され、県債発行や100億円の財政調整基金の取り崩しで予算確保を行う厳しい財政状況となっています。

子ども・子育て支援料、住民税非課税世帯の令和7年度も通院時の

補助対象年齢を12歳までに設定し、小児医療費の助成を市町村と一体で支えます。また、県内の私立高校などに通う家庭の負担軽減を図るため、年収750万円未満世帯及び年収910万円未満の多子世帯を対象に授業料、住民税非課税世帯の家庭には入学金の実質無償化を行うことが挙げられています。これまでも切れ目のない支援策を提案し続けてきました。今後も子育て支援の取組に一層尽力して参ります。

料、住民税非課税世帯の令和7年度も通院時の

安全で安心な街づくり「災害に強いかながわ」を目指し、2000年以前の耐震基準の一般住宅まで耐震化補助対象を拡充。また、県防災ヘリコプターの本格導入に向けた応急体制確保のため、民間ヘリコプターのチャーターや災害用トイレカー10台の導入に関する予算も計上されています。さらに、地域防犯カメラ設置補助の拡充や、交通安全施設整備として道路標示の補修、信号灯のLED化、デジタル回線化などを進め、令和6年度当初予算比で20億円を増額し、道路利用者の安全確保に向けた対応を進めるとしています。

住宅まで耐震化補助対象を拡充。また、県防災ヘリコプターの

私も県財政が厳しい中でも、子育て環境整備や介護・医療、交通安全対策など、県民生活に密着した税の使い方を提案し続けています。皆さまのご意見をお待ちしております。



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ／横浜市出身／サラリーマンを約20年経験／参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験／麻生区在住

石川ひろのり事務所

麻生区百合丘1-5-4
米山ビル202

☎044-455-6611

☎044-455-6614

010-3602-1666